

令和2年度事業報告

【総括】

令和2年2月、記憶にも新しい横浜港で、豪華客船ダイヤモンド・プリンセス号でのコロナ発生ニュースからあっという間に、全国に拡大し、日本政府も緊急事態を発出、北海道知事もいち早くこの対応を始めましたが、効果も遅々として進まず今日に至っております。

当協会の年間事業も深川市開催予定の全道身体障害者福祉大会の中止をはじめ、多くの事業・各種の会議等が開催できなく、それは各協会独自事業も同様でありました。

そのような中で、非常に残念な協会職員の不祥事が発生し、会長はじめ理事・監事、一般事務職員がこの対応に追われ、ようやく終結を見ました。これに係る弁護士等の経費は決算書にて報告いたします。

【事業の概要】

1 協会の適切な運営

- (1) 定時総会 令和2年6月14日(日)コロナ感染予防のため、中止・書面決議とした。
令和2年9月24日(木)道民活動センタービルにて開催
- (2) 理事会 5回、道民活動センタービルにて開催
三役会 7回、主に嘱託職員の対応等、人事問題について道民活動センタービルにて開催
- (3) 監事会 コロナ感染予防のため、中止、書類による監査実施
- (4) 全道大会推進委員会 深川大会中止のため、開催せず。
- (5) 組織検討委員会 令和3年1月26日(火)道民活動センタービルにて開催
- (6) 加盟団体事務担当者会議 令和2年7月9日(木)コロナ感染予防のため、中止

2 第69回全道身体障害者福祉大会・深川大会

令和2年9月20日(日)コロナ感染予防のため、中止

3 組織強化活動

- (1) 組織検討委員会 令和3年1月26日(火)道民活動センタービルにて開催
- (2) 加盟団体事務担当者会議 令和2年7月9日(木)コロナ感染予防のため、中止

4 自主財源の確保

- (1) にっしんれん収益事業 令和2年度は前年より増収の民間団体助成金を確保した。
- (2) 自動販売機収益事業

5 啓発・広報と組織活動

- (1) 機関紙「北海道身体障害者新聞」の発行
令和3年3月現在 毎月25日・9,000部発行
- (2) ホームページの充実 事務局長がホームページの更新を担当
令和3年2月より更新なし。

6 他組織との相互協力・連携

(1) 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会

日身連評議委員会 定例会 年2回 ひろしま大会中止のため、中止・書面決議
令和3年3月30日オンライン開催

日本身体障害者福祉大会ひろしま大会

令和2年6月4日(木) コロナ感染予防の為中止

JR シパング倶楽部への加入促進・更新手続 令和3年3月末日現在加入数 約80名

(2) 東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会団体長等会議 コロナ感染予防の為中止

令和2年9月18日(金) オンライン交流会・開催

(3) DPI 北海道ブロック会議

共通の課題等について共働を進めた。

7 身体障がい者雇用促進・社会参加支援事業

当初9団体の計画が提出されたが、コロナ感染予防の為、2団体の開催、6団体の中止、1団体が計画変更・開催

8 情報通信技術講習会開催事業の実施

パソコン教室の開催 令和2年7月～10月にかけて道内6会場(各会場3日間)にて開催(岩見沢市、石狩市、滝川市、美唄市、帯広市、砂川市)

パソコンボランティアの派遣事業の実施 派遣件数0件

パソコン貸与事業の実施 パソコン所有状況…ノートパソコン10台、貸与実績27台

9 北海道障害者社会参加推進センターの運営

センター総会 令和3年2月コロナ感染予防のため、中止

障害者110番 毎月第4火曜日 弁護士2名委嘱

広報資料の作成・配布(リーフレット)

生活訓練事業 当初11団体12事業の計画が提出されたが、コロナ感染予防のため、4団体4事業の開催、8団体8事業の中止となる。

盲ろう者通訳・介助員派遣 2名利用 59回の派遣。

広報資料の作成・配布(リーフレット)

盲ろう者通訳・介助員養成

令和2年9月26日(土)～11月1日(日) 7日間/42時間

道民活動センタービルにて開催20名修了

(札幌・旭川・函館・その他北海道全域)

10 奨学金事業の推進「奨学金管理運営委員会」による運営

(1) 道新コスモス奨学金 奨学生70名 奨学金年額6万円

11 障がい者スポーツ大会への後援

(1) 後援依頼のあった団体には名義後援を行った。

12 加盟団体会費

令和2年度より新会費となる。